

柱 2

【構想・省察の習慣化】実践例

校内研修に「単元テストの集計タイム」を位置付け、学校組織が一体となって子供のつまづきを分析する取組

～ 宇城市立海東小学校 ～

「集計タイム」を毎月の校内研修に設定し、単元テスト（全学年、国・算）の結果を入力し、数値化された分析結果を客観的かつ視覚的に全職員で共有している。

9月結果（5年算数 領域別）

0 20 40 60 80 100



授業・学力充実タイム等の改善



研究組織を、授業研究部、統計調査部、学力充実部の3部会で構成し、教師の授業評価や児童のつまづき分析等を部会で検討し、評価・改善体制の強化に努めています。

校内において、学力向上検証改善サイクルを有機的に機能させることによって、子供のつまづきを早期に解決するとともに、教職員の指導力向上にもつなげることができる効果的な取組となります。

学力充実部会からの提案

- ✓ 家庭学習について
- ✓ 朝自習について
- ✓ 学力充実タイムについて

部会で検討（授業研究、統計調査、学力充実）

柱 2

【構想・省察の習慣化】実践例

授業力向上のための授業改善サイクルの取組

～ 大津町立大津小学校 ～

「子供を見る目」を育て、児童が「学びの主人公」となって主体的に学習を進めていくことができるようにするために、①学習構想、②授業実践、③授業の省察（授業リフレクション）、④改善授業、⑤実践紹介（共有）と、5つの段階を校内研修の時間に位置付け、授業力向上のための改善サイクルを年に2回、全職員で実践している。



【授業力向上のための授業改善サイクル】



【授業中の児童のつづき等を記録する職員】

①学習構想の段階では、学習指導要領や解説を読み、学年の系統を確かめたり、児童になったつもりで教科書を読んだり、教科書の問題に取り組んだりして、学習者の立場に立った「問い」の予想や単元構想をします。

②授業実践の段階では、児童の側で、授業中の児童のつづきや表情（「児童の学びの事実」）を詳細に記録します。

③授業の省察（授業リフレクション）と④改善授業の段階では、児童の「学びの事実」から見えてきた課題について改善案を探り、改善案をもとに、再び実践します。

⑤実践紹介（共有）の段階では、授業改善サイクルを振り返り、明らかになった成果や課題、実践の学びについてパネルを作り、お互いに紹介し合います。

授業改善サイクルを実践していくことで、教員一人一人の「子供を見る目」が育っています。児童が「学びの主人公」となるための学習構想を日々の授業の中でも、実践していくことができるようになってくると実感する職員が増えてきており、教員一人一人の授業力が向上しています。

柱2 【構想・省察の習慣化】実践例

7つのチェックリストの学校化 ～高森町立高森中学校～

『「熊本の学び」授業実践の7つのチェックリスト』を踏まえ、これまで実践してきた「たかもり学習」について、「単元・題材バージョン」「1時間バージョン」と学校化したチェックリストを作成し、活用している。

「たかもり学習」(1時間Ver)チェックリスト

高森町立高森中学校

学習過程	生徒の皆さんが心がけること	先生方が気をつけていること
導入5分	◎この時間の「めあて」(学習課題)を確実につかみましょう。 <input type="checkbox"/> 本時のめあてをきちんとノートなどに書きましましたか。 <input type="checkbox"/> 50分間の学習の見通しは持てましたか。	<input type="checkbox"/> ゴール(目標を達成した姿)が見える「めあて」 <input type="checkbox"/> 前時を生かし、興味・関心を高める導入 <input type="checkbox"/> 学習の見通しを持たせる導入
展開前段15分	◎自分の力で課題や問題に取り組ましましょう。 <input type="checkbox"/> 自分の考えは持てましたか。 <input type="checkbox"/> 分からないことなどは先生に質問しましたか。	<input type="checkbox"/> 一度で分かる発問・指示 <input type="checkbox"/> 分かりやすい板書 <input type="checkbox"/> 一人一人の学習状況を把握する机間指導
展開後段20分	◎学び合中で自分の意見や考えを広げたり、深めたりしましょう。 <input type="checkbox"/> 相手や場を意識して発表したり、聞いたりできましたか。(返事、声の大きさ、目線、表情、拍手) <input type="checkbox"/> 意見の出し合いだけに終わらず、自分の考えは深まりましたか。	<input type="checkbox"/> 展開に応じた効果的な学習形態と指導方法(個別指導、グループ指導、繰り返し指導) <input type="checkbox"/> 新たな気づきや多様な考えを引き出す工夫 <input type="checkbox"/> ねらいの達成を確実にみとめる精度の高い評価
終末10分	◎学んだことを「めあて」にそって振り返り、まとめましょう。 <input type="checkbox"/> 新しい気づきはありませんか。 <input type="checkbox"/> 「分かった」「できた」という気持ちになりましたか。	<input type="checkbox"/> 「めあて」に即した振り返りと時間の確保 <input type="checkbox"/> 次時につながる教師のまとめ <input type="checkbox"/> 本時の学びとリンクした家庭学習

2021年度に全職員で意識して取り組んでいくこと

- ①単元を通しためあての掲示(板書・電子黒板に表示など)
- ②「たかもり学習」を意識した整理された板書(た・か・も・りのカードの活用)

「たかもり学習」(単元・題材Ver)チェックリスト

高森町立高森中学校

学習過程	高森中の共通実践(意識すること)仮説①	目指す生徒の姿
たしかにつかむ	①単元のゴールの姿を教師と生徒で共有 ②単元の見通しが持てるめあてを設定 ③興味・関心を引き出すような学びとの出会いの設定(意外性、不思議、疑問など)	<input type="checkbox"/> 単元のゴールをイメージしている(どんなことが分かり、できるようになったのかをイメージしている) <input type="checkbox"/> 「なぜ」「おそらく」など疑問や予想を立て、学習に取り組んでいる
かんがえる	④単元の見通しが持てる学習課題を設定 ⑤自分の考えを持てるための場面の設定・指導の工夫	<input type="checkbox"/> 自分の考えを持つことができる <input type="checkbox"/> 教科ならではの視点で物事を捉え、思考しようとしている
もつとふかめる	⑥各教科の見方・考え方を働かせるような場面の設定 ⑦展開に応じた学習形態と指導方法(グループ・ペアなど) ⑧新たな気づきや多様な考えを引き出す工夫	<input type="checkbox"/> 教科ならではの視点で物事を捉え、思考しようとしている <input type="checkbox"/> 「なぜ」「どうして」など疑問や質問を持ち帰ろうとしている
ふりかえる	⑨単元のゴールの姿を達成できたのかを教師と生徒で共有(単元のまとめ、振り返り) ⑩これまでの学び(教科内・他教科・体験など)とのつながりを意識する場面の設定	<input type="checkbox"/> どんなことが分かり、できるようになったのかを説明できる <input type="checkbox"/> 単元の学びをこれまでの学びと関連づけ、これからにつなげようとしている

	教科の枠を超えて高森中での共通実践(意識すること)
家庭学習	個別最適化された家庭学習・授業とつながるような家庭学習の実施(仮説②)
板書の工夫	たかもり学習を意識し、何を学んだのかがわかる整理された構造的な板書
ICTの活用	生徒が学びを深めるためにツールとして活用

	協働的な学習(グループ、ペアなど)で目指す生徒の学びの姿
1年	周りの人の意見に対して相違点を見つながら聞き、理解することができる。
2年	周りの人の意見に対して相違点を見つながら聞き、質問をすることができる。
3年	周りの人の意見と自分の意見を比較して聞き、質問や自分の考えを追加して伝えることができる。

学校化したチェックリストは、各自がいつでも見ることができるようになっているほか、校内研修の授業研究会で授業の視点として活用し、特に、単元を通しためあて(ゴールの姿)の提示を、全教科で意識して取り組んでいます。

また、「たかもり学習」を意識し、何を学んだのかが分かる整理された構造的な板書についても、全職員で継続して取り組んでいます。

何を大事に授業づくりをしていくのか、学校の在籍年数の長短に関わらず、足並みを揃えて取り組むことにつながっています。